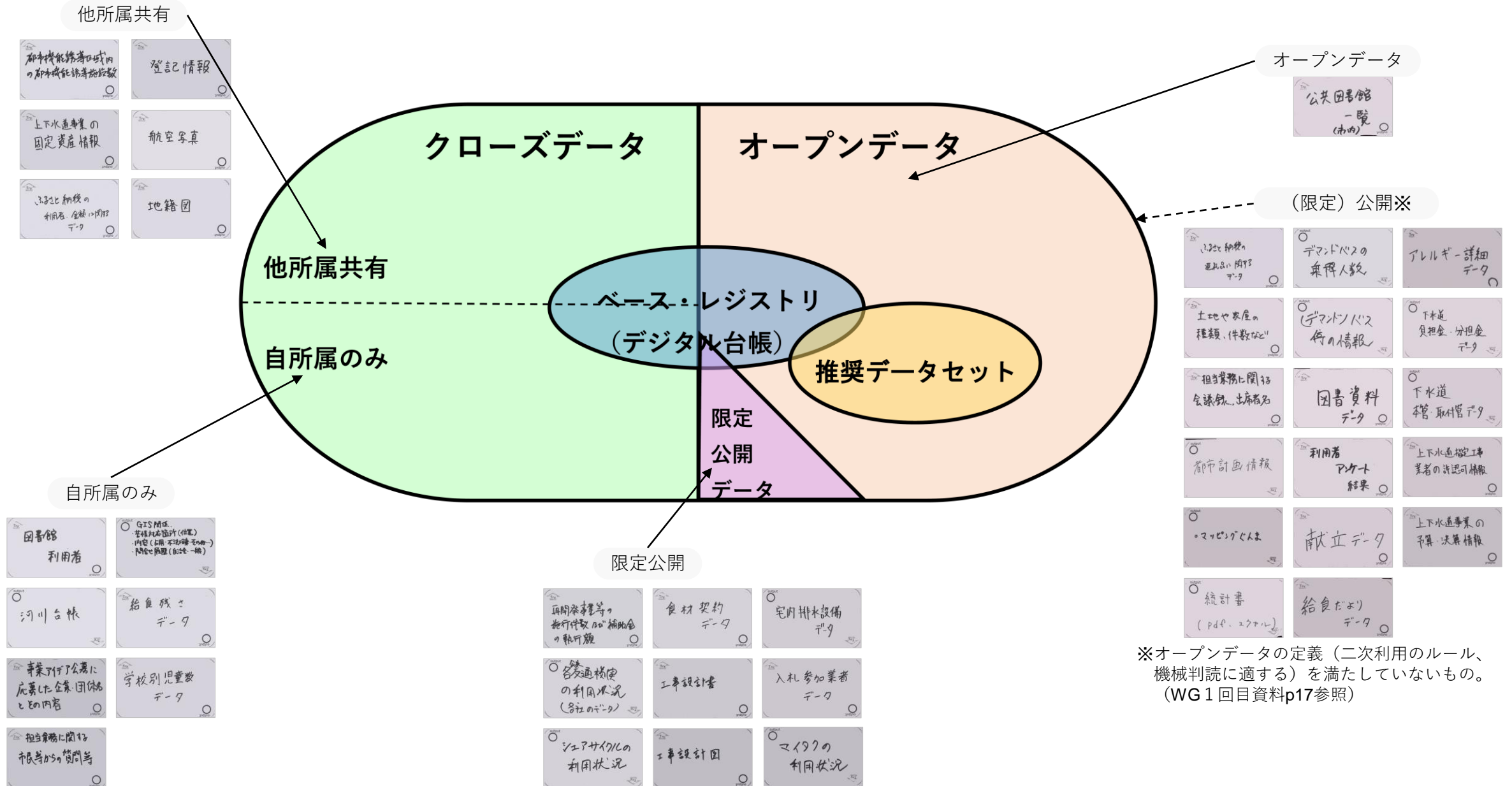


WG名	④官民データ活用WG
-----	------------

項 目	内 容
①実現したい未来	公開データの質と量を向上させることで、問い合わせ件数が減少し事務の効率化が図られ、内外からの円滑なデータ利活用により地域で新たな価値が創出される。
②背景・現状	データ価値の高まりに伴うデータ活用機会の増。透明性、効率化の観点によるEBPMの推進。「官民データ活用推進基本法」による、自治体のオープンデータ推進の取組み義務。
③課題	データの共有、公開、オープン化が一部のみしか図れておらず、市全体のデータの価値を十分に発揮できていない。
④原因	データの共有、公開体制（データの形式、共有、公開、維持管理等にかかるルール）の未構築。
⑤解決策	全庁的なデータの洗い出しの実施。ルールやデータフォーマットの構築。データ利活用方法の検討。
⑥得られる効果 （効果予測）	将来的な事務の効率化と省力化、データ利活用による新たな価値の創出
⑦R3年度の取り組み	課題、タスクの洗い出しと検討。タスクを大きく3つに分類し、3グループに分かれ解決策、価値創出手段を更に検討。
⑧今後の展開 （スケジュール）	グループで分担し解決手法の構築、価値創出の方法を検討。全庁的にデータの洗い出しを行い、データの取扱いにかかる方向性を周知したうえで、データの共有、公開に試行的に取り組み、解決手法を更に洗練した後に、全庁的な取り組みへと発展させる。



第1回ワーク（各所属データの洗い出しと現在の区分）



オープン化実現の障壁、必要なもののワークまとめ

①オープン化に取り組むに当たって

オープンにできていない理由を洗い出す

 = 発散いただいた意見
 = その反対（一例）

①データの定義、選別、ルール

現在のオープン化・公開・共有できない状態	◎理想的なオープン化・公開・共有できる状態(実現可能かは後回し)
データ内のオープン化するものしないものがはっきり分かれていない	データ内のオープン化するものとししないものを分別、修正できる（個人情報等）
権利者のいるデータ、利害関係人のいるデータの取扱い方が難しい	権利者や利害関係人がいるデータの取り扱いに悩まない
手数料条例あり市の歳入減に関わるため、判断できない	手数料が無料になっても市の歳入には問題ない。 手数料条例も改正できる
公開することを前提にデータを収集できていない	公開することを前提としてデータを収集する（許可の関係、特に事業者。それ以外も。）
更新頻度は不定期。情報の反映が遅い。	色々な人の目に留まるよう更新頻度を上げる

②データのフォーマット

現在のオープン化・公開・共有できない状態	◎理想的なオープン化・公開・共有できる状態(実現可能かは後回し)
新しくデータ収集する場合のフォーマットがない	新しくデータ収集する場合のフォーマットを作る（使用する地図も共通に）
データ取得時に個人の属性情報を取得していない	データ取得時に個人の属性情報の取得（検討）する
地図上に掲載するデータについて、データによって境界線にずれがある	データ同士のずれが解消
全国的なデータだが、データ形式は統一されていない	全国的なデータについては、フォーマットも全国的に統一する

オープン化実現の障壁、必要なものワークまとめ

③データの公開・共有環境、利活用

現在のオープン化・公開・共有できない状態	◎理想的なオープン化・公開・共有できる状態(実現可能かは後回し)
地図上にデータ（レイヤ）を重ねて表示できない	地図上に重ねて表示できる
データが基本的に日本語。外国の人は扱いにくい	言語の壁が無くなる
	データ分析（民からの情報提供）の積み上げで予防保全に繋がる 例：道路の危険箇所
	民からの協力
	リアルタイムでの正確なデータ更新
	不具合、ネット遮断時の対策
	A I 分析
	防犯カメラ・ドラレコなど民のビッグデータの活用

④DXの前段階の障壁

現在のオープン化・公開・共有できない状態	◎理想的なオープン化・公開・共有できる状態(実現可能かは後回し)
紙ベースのものがPDFにできない、大変（手間、紙の劣化）	紙ベースのものが簡単にPDFにできる

⑤その他

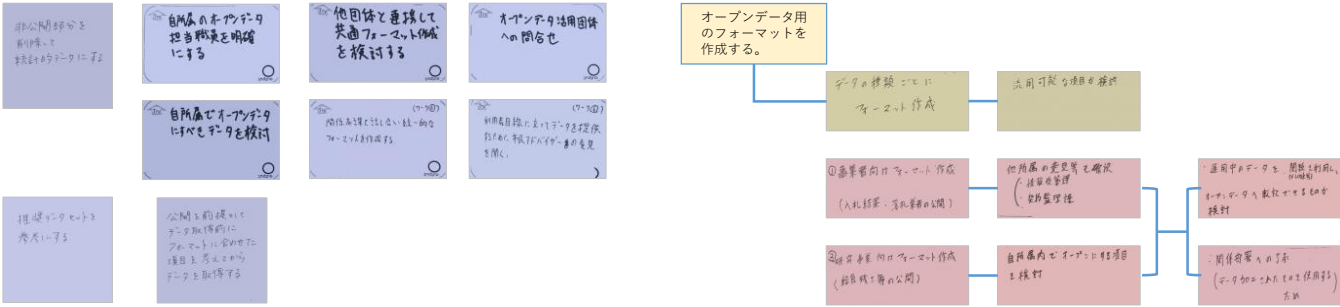
現在のオープン化・公開・共有できない状態	◎理想的なオープン化・公開・共有できる状態(実現可能かは後回し)
英略語や専門用語の多用などのデジタルデバイドがある	デジタルデバイドが解消（他WG）

理想の状態を実現するために必要な手段を深掘り

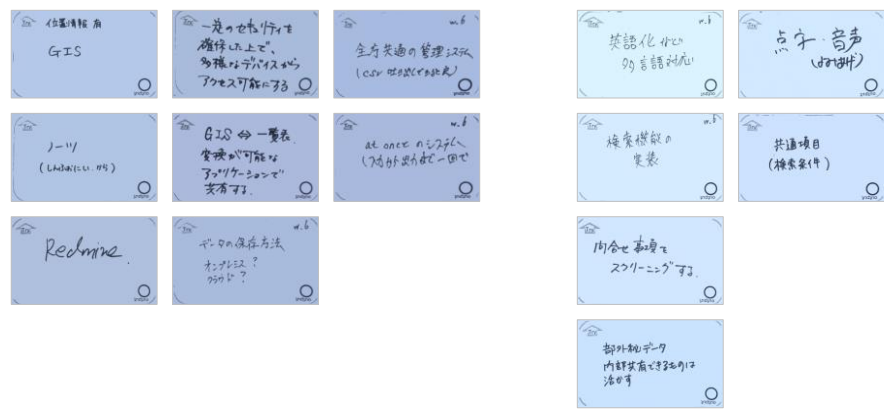
データの定義・選別・ルール検討



データのフォーマット検討

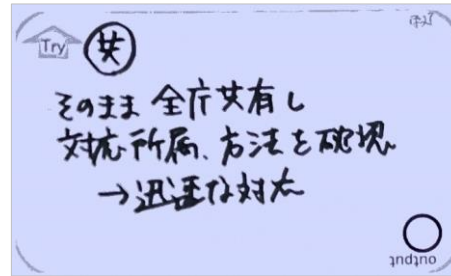
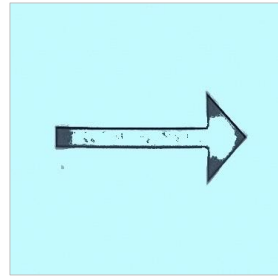
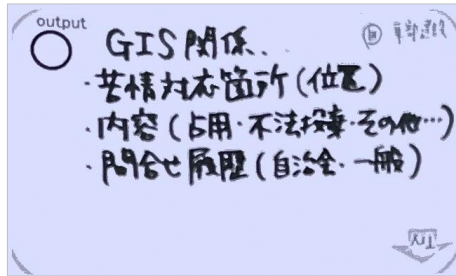


データの公開・共有環境、利活用・内部問合せ履歴簿の検討



データの組合せ（内部問合せ履歴の共有）＝新たな価値創出

現在のデータをより共有するには



〇〇の問合せが多い

どんなデータがある

